



活動について



「丸亀ふくしま♡みんな de わが家」は、2020年11月 JR 丸亀駅北側（市港駐車場南西角）に誕生した、地域共生と地域活性化を目的とした施設です。

地域住民と外国にルーツを持つ住民らが、同じ地域の住民として、この場所を自分の「わが家」にとの思いを共有しつつ、ともにまちづくりに取り組んでいます。

やさしさ づくり



スペイン語教室

（毎週 水曜日 19時～20時30分 金曜日 15時～16時30分）
日本語教室…日本語講師による、外国人住民の親が家庭で子どもとのコミュニケーションをアップするための会話練習
（毎週 土曜日・日曜日 19時～20時30分）

外国語教室

初心者・入門者向けの外国語を地域に暮らす外国人若者と楽しく学んで、地域の外国人住民にあいさつしよう！

放課後寺子屋教室

幼稚園児、小中学生を対象とした放課後学習支援活動
（毎週 月曜日 16時～18時 木曜日 16時～18時）

なかま づくり

生活相談

生活相談…生活の中で困っていることなどを無料で相談できます
（毎月第4日曜日 15時～17時）



わが家の部屋使用

みんな de わが家の各部屋をみなさんの企画でお使いいただけます

ともだち づくり

みんな de カフェ

フェアトレードコーヒー（現在ペルー産）で、みんなでゆったり
※「ふくしまカフェ」の日：毎週第2・4火曜日、第3金曜日 10時～13時



みんな de 産直

近隣の生産農家さんや地域の方々に協力いただきながらすすめます（随時開催）



つながり づくり

福島むかしがたりの会

福島町など、地元の生活の歴史や身近なさぬき弁をみんなで考え次の世代につなぎましょう
毎週第1・3日曜日 13時から17時頃
（何時からでも参加できます）



げんき づくり

みんな de ふき矢

スポーツ吹き矢で肺活量を増やし、呼吸器周りの筋肉を鍛えることで、体力維持・誤嚥予防にもつながります
（毎月第1・第3月曜日 10時～）



その他、みなさんのご意見もお伺いしながら、住民がより良い暮らしを続けられるよう、地域のみなんで「みんな de わが家」として活動を進めていきたいと思います。
ぜひご協力・ご参加ください。

言葉を学んでもらい、思いを分かってもらえるのがうれしい



ロペス・アントニーさん

ペルーの大学を卒業後、丸亀市に来て仕事をしながら、スペイン語教室を開いています。安藤さんとは、当時、にほんごひろばに通っていた妹を通して、知り合いになりました。ここで学んだ言葉を使って、皆さんがスペイン語の文章を作ってくれるのがとてもうれしいです。地域の人々が、私たちの言葉を理解し、もっと仲良くなれたらいいなと思います。

私もまだ日本語がうまく話せないのですが、もっと勉強して、将来も日本で暮らしていけたらと考えています。



丸亀港に近い福島町。その一角に、多文化共生のまちづくりに向けて、新しい居場所が作られています。



丸亀ふくしま♡みんなdeわが家

去年の11月、にほんごひろばの会長である安藤さんは、地域の人と外国人住民が交流できる施設を立ち上げました。市内外10人のボランティアで運営しており、交流イベントや、語学教室、生活相談などに取り組んでいます。施設のある福島町には、多くの外国人住民が暮らしています。安藤さんはにほんごひろばの活動を続けていくにつれ、地域との交流の大切さを実感したそうです。

「外国にルーツを持つ子どもだけでなく、その家族にも、手助けが必要だと感じました。普段の生活で困ったことを気軽に話せる憩いの場所として、『丸亀ふくしま♡みんなdeわが家』を開設しました。」

新型コロナウイルスの影響で、来る人は減っているものの、近隣住民からは「居心地のいい雰囲気、楽しい」と慕われているようです。

安藤さんに、運営する側として、どんな人にボランティアに来てほしいか尋ねると、「新しい発想をもった人に、参加してほしいです。積極的な人が多いので、何かいいアイデアがあれば、まずはやってみよう！と一緒に動いてくれますよ」と朗らかに答えてくれました。

日本語で悩む子どもたちのために始まったボランティア活動。今では、子どもたちだけでなく、その家族や知り合いなど、多くの人たちの間でも、支援・交流の輪が広がっています。

同じまちで、言葉の壁を越えて、仲良くなりたい！

活動に関わる人たちからは、そんな温かい気持ちも伝わってきます。

多文化共生社会を目指す今の時代、「こうしたい」「お互いの文化や言葉を知りたい」という思いが、解決の糸口になるのかもしれない。



■放課後寺子屋教室

日時：月・木曜 午後4時～5時半

外国人住民の子ども向け学習教室。学校や塾の宿題、絵本や用意したプリントを使って、日本語の発音や書き方を教えています。

孫とよく来るというペルー出身の女性は「子どもたちの親が仕事でいない間、私一人だとなかなか世話をしあげられないけれど、ここなら安心して預けられます」と信頼を寄せています。

■スペイン語教室

日時：水曜 午後7時～8時半
金曜 午後3時～4時半

スペイン語の語学教室。スペイン語の読み書きや、会話練習を学べます。アントニー先生以外にも現地の先生が曜日ごとに担当。参加者からは「一つの部屋で一緒に勉強していたら、参加者同士で交流も深まるので、とても楽しいです」と話してくれました。



■日本語教室

日時：土・日曜 午後7時～8時半

外国人住民の家族を対象に開催される日本語会話教室。子どもと一緒に、日本語の発音や意味を勉強する親の姿も。「長く日本に住んでいても、思い通りに日本語を話せない人もいます。気軽に参加ください」

■生活相談

日時：第4日曜 午後3時～5時

行政書士による生活相談。事前の電話予約（☎080-3921-9414）で受け付けています。

「在留申請の書類作成や、労災保険、年金についてなど、相談内容は多岐にわたります。言葉がよく分からない国での事務手続きは、やはり不安なようです。彼らが少しでも安心して暮らせるように、窓口への同行や、代筆などの手助けもしています」

